

守れ9条!

こんにちは! 日本共産党の

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2006年12月28日

〒319-1112

東海村村松 2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

電話・fax 029-284-0761

今年もお世話になりました

来年が良い年でありますように!

子どもたちをめぐる痛ましい事件や、高齢者を苦しめる悪政の数々、労働者の待遇の問題など、年を重ねるごとに生きにくくなっています。

そして、自民党結成以来の課題でありながら、歴代総理大臣が誰ひとりとして成せなかった教育基本法の改悪は、安倍政権発足直後に自民・公明の与党によって強行可決されました。

「こんな社会でいいの?」・・・誰もが感じている事と思います。しかし、生きることや暮らしがどんなに追いつめられても、私たちには、それに立ち向かい、はね返そうとする多くの国民の連帯があります。この連帯の輪をさらに大きく広げ、より人間らしい暮らしを、命を大切にする政治をとりもどすために、来年も力をつくしたいです。

ゴミ袋指定化に関する予算案の説明から

2007年度 7・8・9月は袋の無料配布期間、実質袋指定実施期間を10・11・12・1・2・3月として

[支出] ゴミ袋成作費用	42,550,350円	[収入] ゴミ袋売り上げ代	<u>57,782,245円</u>
広告印刷代	394,500円	(無料配布分は除く)	
合計	42,944,850円	[収支] 57,782,245-42,944,850=	<u>14,837,395円</u>

12月議会 私の一般質問から 先週の続きです

(再質問) 大名 「指定化しても減らない」という施策の後追いをなぜするのか

環境省発行の「日本の廃棄物処理」では、容器包装廃棄物を含む一般廃棄物総排出量は、97年度5,120万ト、00年度5,236万ト、03年度5,160万トとなっており、全国的にはゴミ総量は減っていない。すでに実施している近隣自治体でも総量は減っていない。つまりゴミとなる物の生産が

増えているのではないか。仮にペットボトルの生産量をみると、95年度 142,110 トン、04年度 513,712 トンと 10 年間増え続け、分別しても袋指定をしても増え続けている。また必要以上に買わされる「売り方」にも問題がある。この状況の中では、「ゴミを発生させないしくみをどうつくるか」このことこそが重要なのではないか。県内では本村だけが指定化していないというが、指定化してもゴミが減らないという施策をなぜ後追いつけるのか。コンビニの 300袋は 1 枚 10.5 円、村予定価格は 15 円。痛みを押しつけるだけの袋指定は撤回すべきである。袋指定に対する賛否両論での問題提起ができるシンポジウムをぜひ行ってはどうか。

**経済環境部長 分別の促進・ゴミ減量化への住民の意識の高揚が重要。指定化のねらいはそこにある。
シンポジウムでなく、説明会・懇談会等で対応していく。**



大名みえ子の “ひとりごと”

(その1)

この冬観たいと思う映画は、「名犬ラッシー」と「シャーロットのおくりもの」。テレビでもコマーシャルしているが、12.24 付け日曜版のシネマ館で紹介されていた。

観たいと思ったきっかけの紹介文は、「名犬ラッシー」では、**“ラッシーがスコットランドから 800 キロもの山、野、川、湖をこえて走るひたむきさに熱くなってきます。貧富の格差を乗り越える少年の強さ、ラッシーの賢さ。”**

「シャーロットのおくりもの」では、**“人間のあきっぽさも皮肉りながら約束を守る優しさを見せます。小さなものにやどる生命のゆらぎをとらえ、それをいつくしむ心の大切さを考えさせられる。”**

いつも突っ走っている私の心に、“ふわふわ”とした柔らかさを取り戻せるかも？

(その2)

このごろ気になるウチのネコ。生まれて間もない捨て猫を拾ってきたばかりの頃は、ほ乳瓶とミルクで手塩にかけて(?)、“可愛かった。”排泄も決められたトイレにきちんとしていた。しかし1年たった今は、その面影はどこにもみあたらず、室内で飼っているため運動不足もあって、家族は最近「うーん、ちょっと太りすぎ?。」この声が聞こえるのか、それとも昼間、精神不安定になるのか、トイレは覚えているのに、私が帰るとすぐ待っていたかのように、時々トイレでない場所に “おしっこ” をしてしまう。思わず「こらーっ！」これまたどうしたら失敗をなくせるのか、悩むところ。